

令 和 5 年 度 学 校 評 価 自 己 評 価 書 (1 学 期)

1 学 校 の 重 点 目 標

- (1) 学習指導法の改善と個に応じた指導を通して、言語活動の充実と思考力・判断力・表現力の育成を図る。
 (2) 自己指導能力を育む積極的な生徒指導を推進する。
 (3) 道徳教育を充実させ豊かな心を育むとともに体力・健康づくりを推進し心身のたくましさの育成を図る。
 (4) 開かれた学校づくりに努め、地域や家庭、関係機関と連携した教育活動を推進する。

2 課 題 と 改 善 策

	評価項目	評価	評価結果と改善方策
学力向上	① 主体的学習活動及び思考・判断・表現力の育成	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 特別な支援を必要とする生徒へのきめ細やかで適切な支援と家庭や関係機関との連携 特別支援学級での授業の際の教材の工夫 カリキュラムマネジメントを意識した学習指導 特別支援教育や学習指導についての小学校との連携
	② 特別支援教育の視点に立った個に応じた指導	2.7	
	③ 諸調査・検査等の分析と活用	3.0	
生徒指導	④ 危機意識及び生徒情報の共有と共通実践	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や関係機関と連携した不登校解消への取組の強化 教育相談アンケートの充実 各学年、学校全体での情報の共有、組織的な対応
	⑤ 自己指導能力育成の取組推進	3.0	
	⑥ 生き方指導としての進路指導の充実	3.1	
	⑦ 特別活動の充実、推進	3.1	
心の教育	⑧ 道徳教育の充実による豊かな心の育成及び、全教育活動での互いのよさを認め合う場面づくり	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 「問い」が継続できるような発問の工夫 人権同和教育の内容を取り入れた道徳授業の実施 学年集会等での三つの合言葉に関する内容の講話の実施
	⑨ 人権を考える道徳教育の推進	3.0	
	⑩ 三つの合言葉を通じた取組	2.7	
情報教育	⑪ ICT活用による分かる授業の実践	2.9	<ul style="list-style-type: none"> 授業におけるタブレットの積極的な活用 情報モラル講話の内容の工夫、講師との連携 日常的なタブレット持ち帰り実施に向けた職員研修の実施
	⑫ 情報モラル教育の充実と情報管理の徹底	3.1	
	⑬ 生徒の情報端末機器活用の実態把握と指導の徹底	2.8	
開かれた学校	⑭ 積極的な情報の収集・発信	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページの内容の充実 学校運営協議会の内容の工夫 生徒会と地域コミュニティ協議会等との連携
	⑮ 学校運営協議会の活性化・機能化	3.1	
	⑯ 地域連携の推進	3.0	
保健安全	⑰ 体力・健康づくりの生活化の推進	2.9	<ul style="list-style-type: none"> 熱中症対策の徹底 登下校時の安全指導の更なる徹底 感染症対策の継続的な呼びかけ 安全点検の徹底 発達段階に応じた性教育の実施
	⑱ 安全指導の充実	3.1	
	⑲ 性に関する指導の充実	2.7	
	⑳ 食育の実践と充実	2.9	
教職員向上の	㉑ 研究授業・授業参観交流による校内研修の充実	2.8	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業、授業研究の充実 各種研修についての積極的な情報提供 定期的、かつ継続的な服務指導とその内容の工夫、充実
	㉒ 外部研修への計画的・積極的参加	3.0	
	㉓ 服務指導に関する校内研修の充実	3.1	
西陵中授業メソッド	㉔ 西陵中授業メソッドを意識した授業計画及び取組	2.9	<ul style="list-style-type: none"> 「西陵中授業メソッド」についての共通理解の徹底 学校行事における「学びのステップ」の活用 学年間で「学びのステップ」の活用方法についての情報交換
	㉕ 西陵中授業メソッドのルール（方法）の達成度	2.8	
	㉖ 学びのステップを意識した授業での取組	2.9	
	㉗ 西陵中授業メソッドの目標達成度	2.8	
一校改革	㉘ 「自ら気付き考えて清掃」の活動推進	2.8	<ul style="list-style-type: none"> 時間いっぱい清掃するための生徒への声掛け 定時退庁日の徹底 業務改善1アクションの実行
	㉙ 「意識改革による業務改善」の推進	3.0	

3 2 学 期 へ 向 け て の 取 組

- 特別な支援を必要とする生徒や、不登校生徒への家庭や関係機関との連携の強化
- カリキュラムマネジメントを意識した学習指導
- 「西陵中授業メソッド」についての共通理解の徹底
- 学校行事における「学びのステップ」の活用
- タブレット活用についての職員研修の実施
- 各学年、学校全体での情報の共有、組織的な対応
- 道徳授業における「問い」が継続できるような発問の工夫
- 業務改善1アクションの実行

